



ホンジュラス共和国

Republic of Honduras

2008年1月現在



一般事情

- 1.面積 112,492平方キロメートル(日本の約3分の1弱)
- 2.人口 740万人(2006年、国家統計局)
- 3.首都 テグシガルパ
- 4.民族 ヨーロッパ系・先住民混血91%、その他9%(先住民6%、アフリカ系)
- 5.言語 スペイン語
- 6.宗教 伝統的にカトリック(信教の自由を憲法上保障)
- 8.通貨 レンピーラ(L)
為替レート 1\$ = 18.89レンピーラ(2006年平均)
補助通貨単位 100センターボ = CENTAVO/S
- 9.査証(ビザ) 査証相互免除取極(1974年)
- 10.在留邦人数 241人(2006年12月現在)
- 11.在日当該国人数 コンセント・タイプ
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 504 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 0.79 US\$ (20本当り)
税率 38.3%
製造数量 2,247 (百万本/年)
シガレットメーカー

Centroamerica Cigars SA	Cigar Imports Ltd
Fabrica de Tabacos La Flor de Copan, S.A. de C.V.	
Fabrica de Tabacos La Flor de Copan, SA de VC	Tropical Tobacco
General Cigar Honduras American Tobacco SA	
Tabacalera Hondurena SA	B.A.T. Group

15.略史

年月	略史
1502年	コロンブス「発見」
1539年	グアテマラ総督領編入
1821年	独立
1823年	中米諸州連合結成
1838年	中米諸州連合より分離独立
1982年	民政移管、コルドバ大統領就任
1986年	アスコナ大統領就任
1990年	カジェハス大統領就任
1994年	レイナ大統領就任
1998年	フローレス大統領就任
2002年	マドゥーロ大統領就任
2006年	セラヤ大統領就任

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館

ホンジュラス共和国大使館
Embassy of the Republic of Honduras in Japan
〒106-0031 港区西麻布4丁目12-24 第38興和ビルディング8階802号室
電話:03-3409-1150

在神戸ホンジュラス共和国名誉領事館 管轄区域:神戸市
Honorary Consulate of the Republic of Honduras in Kobe
〒650-8577 神戸市中央区港島中町7丁目7-7
電話:078-304-8808

政治体制・内政

- 1.政体 立憲共和制
- 2.元首 ホセ・マヌエル・セラヤ・ロサレス大統領(任期4年、再選禁止)
- 3.議会 一院制(128名、任期4年)
- 4.政府 自由党 (1)首相名 首相職無し
(2)外相名 ミルトン・ダニロ・ヒメネス・ブエルト(2006年1月就任)

5.内政

1963年以降1980年まで軍政が続き、1980年に制憲議会選挙、1981年に総選挙が行われ、1982年に民政移管。

以後7回の大統領選挙が実施されており、自由党と国民党の2大政党制度が定着していると言える。

2005年11月の大統領選挙・総選挙では、接戦の末、最大野党自由党のセラヤ候補が勝利した。

セラヤ大統領は2006年1月に就任した。また、国会でも自由党が第一党となった。

セラヤ大統領は、透明性のある政府と市民との対話を重視。初等教育の普及、治安の改善、燃料価格安定等に取り組んでいる。

外交・国防

1.外交基本方針

- (1)対米関係重視。外交多角化の観点より対日関係重視。
- (2)中米統合の促進。

2.軍事力

- (1)徴兵制に代え志願兵役制を導入(1995年4月、議会にて志願制兵役法案可決)
- (2)兵力 12,000人
- (3)国防費 52.4百万ドル(2005年)(ミリタリーバランス2006)

経済

1.主要産業

農林牧畜業(コーヒー、バナナ、養殖エビ)

2.GDP(2006年、IMF)

8,981百万ドル

3.一人当たりGDP(2006年、IMF)

1,213ドル

4.経済成長率(IMF)

3.5%(2003年)、4.6%(2004年)、4.2%(2005年)、5.8%(2006年)

5.消費者物価上昇率(中銀)

7.7%(2003年)、8.1%(2004年)、8.1%(2005年)、5.3%(2006年)

6.失業率(中銀)

5.4%(2003年)、5.9%(2004年)、4.8%(2005年)、3.5%(2006年)

7.総貿易額(中銀、百万ドル)

(1)輸出(F.O.B) 1,580.5(2004年)、1,765.4(2005年)、1,917.6(2006年)

(2)輸入(C.I.F) 3,678.5(2004年)、4,187.5(2005年)、4,995.0(2006年)

8.主要貿易品目(2006年、中銀)

(1)輸出 コーヒー、バナナ、エビ、亜鉛、金

(2)輸入 燃料類、電気部品・製品、化学工業製品

9.主要貿易相手国(2006年、中銀)

(1)輸出 米国(35%)、ベルギー(9%)、エルサルバドル(9%)、日本(1%)

(2)輸入 米国(34%)、グアテマラ(10%)、エルサルバドル(6%)、日本(3%)

10.通貨

11.為替レート

レンピーラ(L)

1\$ = 18.89レンピーラ(2006年平均)

12.経済概況

拡大重債務貧困国(HIPC)イニシアチブの対象国であり、2005年3月にIMF理事会、同年4月には世銀理事会において完了時点に到達したことが承認された。

その結果、国際機関(ブレッジ額は約3億ドル)、各国(予定額940百万ドル)による債務免除が実施されることとなった。

我が国は、約465億円の債務免除を行った。

コーヒー、バナナ等の伝統産業への依存度は未だ高いが、これから脱却するため、新規産業の育成を図っている。

近年はマキラ(保税加工区)における製造業(特に繊維)や観光業が注目されている。

在米ホンジュラス人(約100万人)からの本国送金も急増しており、2006年の送金額は23億ドル(前年比32%増)。

1998年、中米を襲ったハリケーン・ミッチにより、約36億ドル(1998年名目GDPの約68%にあたる)という未曾有の被害を被ったが、近年は、本国送金やマキラ産業にも支えられ、経済が好調。

2005年の成長率は4.2%。2006年は5.8%(暫定値)。

米・中米・ドミニカ共和国自由貿易協定(DR-CAFTA)が2006年4月に発効。

13.対外債務(中央銀行) 5,223百万ドル(2005年)、3,955百万ドル(2006年)

経済協力

1.日本の援助実績(単位:億円)

(1)有償資金協力(2005年度まで、JICA経費実績ベース) 347.74

(2)無償資金協力(2005年度まで、JICA経費実績ベース) 641.21

(3)技術協力実績(2005年度まで、JICA経費実績ベース) 337.93

2.主要援助国(2005年、百万ドル)

(1)日本(103.47) (2)スペイン(95.02) (3)米国(88.07)

二国間関係

1.政治関係

伝統的に友好関係。
 1935年2月外交関係樹立。
 1941年12月からの外交関係中断を経て、1953年10月外交関係再開。
 1967年相互に大使館開設。
 1971年我が方大使館実館設置。
 1998年、ハリケーン災害の人道援助のため、日本は国際緊急援助隊として初めて自衛隊の医療部隊を派遣。
 約4千人の診察と約3.3万平米の防疫を行った。

2.経済関係

対日貿易(中銀)

(1)貿易額(単位:百万ドル)

(FOB)輸出 15.1(2003年)、14.6(2004年)、21.7(2005年)、19.5(2006年)

(CIF)輸入 114.0(2003年)、123.6(2004年)、107.8(2005年)、141.5(2006年)

(2)主要品目

輸出: コーヒー、ごま、金属くず(鉄、鋼鉄、アルミニウム)

輸入: 自動車、タイヤ、工業機械

3.在留邦人数

241人(2006年12月現在)

4.要人往来

(1)往訪(1982年以降)

年月	要人名
1982年	山下徳夫特派大使(コルドバ大統領就任式)
1984年	北川外務政務次官
1984年	山下徳夫衆議院議員(叙勲)
1986年	奥田敬和特派大使(アスコナ大統領就任式)
1990年	斉藤十郎特派大使(カジェハス大統領就任式)
1991年	杉浦正健衆議院議員 渡海紀三朗衆議院議員
1992年	小淵恵三衆議院議員、杉浦正健衆議院議員 三原朝彦衆議院議員、新盛辰雄衆議院議員 木間章衆議院議員、藤原房雄衆議院議員
1994年	山下徳夫特派大使(レイナ大統領就任式)
1998年	綿貫民輔特派大使(フローレス大統領就任式) 町村外務政務次官(ハリケーン見舞い)
1999年	愛知和男衆議院議員
2002年	清水嘉与子特派大使(マドゥーロ大統領就任式)
2003年	清子内親王殿下
2005年	有馬龍夫政府代表 (日本・ホンジュラス外交関係樹立70周年記念式典)
	小平忠正衆議院議員
2006年	鳩山邦夫特派大使(セラヤ大統領就任式)
2007年	山際大志郎衆議院議員

(2)来訪(1984年以降)

年月	要人名
1984年	パス・バルニカ外務大臣(外務省賓客)
1985年	パス・バルニカ外務大臣
1986年	カステーリョ国会副議長
1988年	エステラ・バーリエ文部大臣 フェルナンデス国会副議長
	ロペス・コントレーラス外務大臣
1989年	アスコナ大統領(大喪の礼) ロペス・コントレーラス外務大臣(大喪の礼)
	カストロ通信・公共事業運輸大臣
1990年	イリアス国会議長 カステリャーノス厚生大臣 マルティネス予算企画大臣 カステーリョ大統領顧問
	メンブレニョ通信・公共事業運輸大臣
	カジェハス大統領(即位の礼) カリヤス外務大臣(即位の礼)
1991年	メディーナ経済大臣 ビジャヌエバ大蔵大臣 マドゥーロ中銀総裁
	ヌフィオ天然資源大臣
1993年	カリヤス外務大臣 チャイン経済貿易大臣
1994年	パス外務大臣

(2)来訪(1984年以降)

年月	要人名
1995年	ヘレサノ副大統領
1997年	レイナ大統領(実務訪問賓客)
1999年	フローレス外務大臣(台湾訪問帰路立ち寄り)
2003年	パトレス文化大臣
	ピエレフ観光大臣
	ロドリゲス枢機卿
	パンティング環境大臣
2004年5月	マドゥーロ大統領(実務訪問賓客)
2005年3月	ロサ・パウティスタ外務大臣(外務省賓客)
2005年4月	マドゥーロ大統領(IDB沖縄総会)
2005年8月	マドゥーロ大統領、ロボ副大統領、 フォルティン外務大臣(日本・中米首脳会談)

5. 二国間条約・取極

- 1974年 査証相互免除取極
- 1976年 青年海外協力隊派遣取極

6. 議員交流

- 1981年 日本・ホンジュラス友好議員連盟設立
(会長: 綿貫民輔前衆議院議長)